

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
2年	国語	おすすめの本を友だちに しょうかいしよう 「わたしはおねえさん」	2年1組26名	2年1組 教室	倉橋 優子

1 単元について

単元マップ

子供の深い
学びの姿

人物と自分を比べて読むことによって、物語を身近な物に感じることができ、進んで読書をし、友だちに本を紹介しようとする。

解決・
まとめ

あらすじをまとめることで、分かりやすく本をしょうかひできる。⑪

活用

単元を通じた
学習過程

まとめる
広げる

知識・技能「何がわかるようになるか・何ができるようになるか」

単元のめあてを知り、学習の見通しをもつ。
「おすすめの本を友だちにしょうかいしよう」①

問題設定

習得

本文を読み、物語の背景を考え、すみれちゃんの特徴を捉え、どんな女の子か自分と比べることができる。②③

すみれちゃんの言動から、心の変容を考え、自分と比べることができる。④⑤

あらすじをまとめ、それをもとにして「わたしはおねえさん」の紹介文を書くことができる。⑥⑦

活用

「わたしはおねえさん」で学んだことをもとに、自分の紹介したい本のあらすじを紹介文を書くことができる。⑧⑨⑩

身に付けさせたい用語・語句

- ・あらすじ
- ・紹介文

- ・比べる
- ・気持ちの変化
- ・はじめ
- ・中
- ・おわり

単元を通じた
学習過程

つかむ
見通す

単元を通じた
学習過程

追究する

本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

○ 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。

【思考力・判断力・表現力】

○ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。

○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

【学びに向かう力、人間性等】

○ 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

単元・題材について

Ｃ 読むこと ◎オ，○ウ

オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

言語活動 オ

読んだ本について、好きなところを紹介すること。

本単元は、文学的文章の「わたしはおねえさん」を自分と比べながら読み、一番心に残ったところを中心にあらすじを書いて紹介するという学習と、「この本、読もう」で構成されている。この作品は、児童と重ねて捉えやすく、自分と比べながら読み進める学習として格好の教材である。また、話の筋が分かりやすく、あらすじをまとめる教材としても有効であることから、「あらすじをまとめよう」という活動を設定する。

児童の実態

単元の目標

- 登場人物の行動を捉え、自分の経験と重ねたり比べたりしながら読むことができる。
- あらすじをまとめ、紹介文で表すことができる。

単元の指導について

4月から、「読むこと」の領域では、言語活動を設定し、ゴールを意識しながら丁寧に学習を積み上げてきている。何のために学習をしているのかを明確にすることで、学習意欲が高まり、単元ごとの指導事項を身に付けることに有効に役立っている。

本単元では、「あらすじ」をまとめることを学ぶ。2年生の児童にとって、話を短くまとめてあらすじをまとめることは容易なことではない。多くの場合、本文の言葉をそのまま書き抜いて長々とした文になってしまう。そうならないために、等身大の主人公が登場し、感情移入しやすい「わたしはおねえさん」の教材文で、あらすじのまとめ方を身に付けていく。

「出会い・学習計画」段階では、言語活動『友だちに本をしょうかいしよう』を知り、本を紹介するためには「あらすじ」で伝えることがよい手段であることを知る。相手意識や目的意識をもたせることで、学習意欲を高めていく。

「追究」段階では、教材文「わたしはおねえさん」の物語を、自分と比べながら読むことによって、想像を広げながら読むことができ、また身近なものとして捉えやすくなる。内容を捉えやすいからこそ、「あらすじ」として表しやすい。格好の教材文である。

「まとめる・活用」段階では、2次で身に付けた「あらすじ」のまとめ方を自分が選んだ本（B教材）で活用する。1次でもった相手意識（友だちに紹介する。）と目的意識（自分の選んだ本を紹介する。）を確認し、しっかりとゴールに行き着くよう学習を進めていく。

単元の評価規準

【関心・意欲・態度】	【知識・理解】	【思考力・判断力・表現力】
①物語に親しみ、あらすじや感想を伝え合うことに興味をもっている。	①主語と述語の关系到気を付けて登場人物の行動を読み取ったり、紹介文を表したりしている。	①物語の設定や大筋を読み取っている。 ②登場人物と自分を重ねたり、比べたりしながら想像を広げている。 ③文章から大事な文や言葉を選び、話の流れが分かるあらすじをまとめている。

子供の深い学びの姿

人物と自分を比べて読むことによって、物語を身近なものに感じることができ、進んで読書をし、友だちに本を紹介しようとする。

2 単元の指導計画 【11時間扱い 5/11】

段階	次	時	○おもな学習活動・具体的内容 まとめ	【 】教師の評価規準（評価方法） ◇ 指導の手立て ☆ 思考を活性化させるアクティブ化ポイント
つかむ・見通す	1	①	<p>○単元のめあてを知り，学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> おすすめの本を友だちにしようかいしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ本を友だちに紹介するために，紹介文にまとめることを知る。 ・あらすじと感想文との違いを知る。 →「スイミー」で模範を示す。 ・提示された本から，紹介したい本を選び，並行読書をスタートする。 	<p>【関・意・態】</p> <p>自分が選んだ本を友だちに紹介しようという意欲をもち，学習の見見通しをもつ。（話し合い，ワークシート）</p> <p>☆ 学習の（ゴールへの）方向性や解決の方法，追究 観点等のイメージを子供にもたせる。 【思 A-⑦】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>紹介したい本を選んでいる。</p> <p>◇ 紹介したい本を一緒に探す。</p>
追究する	2	②	<p>○本文を読み，物語の背景を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の範読を聞き，初発の感想をもち交流する。 ・題名読みをする。 ・登場人物，時，場所，出来事などを捉える。 	<p>【思・判・表】</p> <p>時，場所，人物，出来事などに注意して，物語の大筋を読み取っている。（発表・ワークシート）</p>
		③	<p>○すみれちゃんの特徴を捉え，どんな女の子なのかを読み合い，自分と比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かる箇所に線を引く。 ・なぜ，そう考えたのかを交流する。 ・自分と比べてみる。 	<p>【思・判・表】</p> <p>心に残った言葉や文を書き抜き，自分の経験を振り返りながら，登場人物との共通点や相違点を見付け出している。（ワークシート・発表）</p>
		④ ⑤ （本時）	<p>○すみれちゃんの心の変容を考え，自分と比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ④すみれちゃんとかりんちゃんの言動を見付け，色分けの線を引く。 ・交流する。 ⑤すみれちゃんの言動から，すみれちゃんの心の変化に気付く。 ・交流する。 ・自分と比べてみる。 	<p>【知・理】</p> <p>主語と述語の関係に注意して，文章を読んでいる。（発表）</p> <p>☆ 〈個の思い〉から〈学級全体の課題〉へと収束し，課題を把握させる。（子供の言葉を大切に作る。） 【思 A-⑥】</p> <p>◇ 自分と比べることが難しい場合，具体的に質問をして，想起させる。</p>

追究する		⑥	○あらすじをまとめる。 ・大事な文や言葉を選び、話の流れが分かるようにまとめる。 ・交流する。	【思・判・表】 文章から大事な言葉を選び、話の流れが分かるようにあらすじをまとめている。(ワークシート・発表) ◇ 挿絵や会話文から、学習してきたことを振り返らせる。
		⑦	○「わたしはおねえさん」の紹介文を書く。 ・「初め」「中」「終わり」の組み立てで文章を書く。 ・ペアで交流する。 あらすじをもとにしてのしょうかい文の書き方が分かる。	【関・意・態】 進んで紹介文を書いている。 【知・理】 主語、述語の関係に気を付けながら紹介文で表している。 ☆ あらすじをまとめた紹介文を隣の友だちと交流する。【思 A-⑫】
まとめる・広げる	3	⑧	⑧紹介したい本のあらすじをまとめる。 ・大事な文や言葉を選び、話の流れが分かるようにまとめる。 ・登場人物と自分とを比べる。	【関・意・態】 同年代の主人公が出てくる話を興味をもって読んでいる。(観察)
		⑨	⑨紹介したい本の紹介文を書く。 ・「初め」「中」「終わり」の組み立てで、文を書く。	【思・判・表】 自分の感想の中心が明確になるように文章から大事な言葉を選び、話の流れが分かるあらすじにまとめている。(ワークシート・発表)
		⑩	⑩紹介したい本の紹介文を交流し合う。	☆ 2次で身に付けた「あらすじ」のまとめ方を基にして、自分が紹介したい本の「紹介文」を書く。【思 A-⑭】
		⑪	⑪学習を振り返る。 ・登場人物と自分を比べながら読むことによって、どんなことに気付いたのかを交流する。	◇ 2次での活動を想起させながら声に出させる。

3 本時の学習

(1) 目標

すみれちゃんとかりんちゃんの言動から、すみれちゃんの心の変化に気付き、自分と比べることができる。
【読むこと】

(2) 展開【 5時間目 / 11時間扱い 】

***思考アクティブ化シートB-②【 対話重視 】**

	児童の活動	形態	<input type="checkbox"/> 教師の働きかけ ◎ 主な発問 ◆ 教師の評価（評価方法） ☆ 思考を活性化させるアクティブ化ポイント
導入	○ 前時を振り返る。 ・ すみれちゃんとかりんちゃんの言動を考えた。 ○ 本時の学習課題を確認する。	全	<input type="checkbox"/> 単元の学習計画を掲示しておく。 <input type="checkbox"/> 前時までの学習の過程が分かるような全文シートを掲示する。
すみれちゃんの心のうごきを読み合い、自分とくらべよう。			
展開	○ 音読をする。 ○ すみれちゃんの心がどう変化していったのかを考える。 ・ かりんちゃんのいたずらに、初めは怒っていたが、最後には許した。 ○ なぜ、最後に許したのかを考える。 ・ ただのいたずらではなく、勉強していたことがわかったから。 ・ すみれちゃんは、かりんちゃんのおねえさんだから。 ・ もう、二年生になったから。	個 ↓ 全 グループ ↓ 全	<input type="checkbox"/> 音読をしながら、すみれちゃんの心の変化を見付けさせる。 ☆ 「ワークシート活用の仕掛け」 ・ 全文シートを活用することにより、子供の思考の流れを可視化し、情報整理できるようにする。 【思 B②-⑨】 ◎ すみれちゃんは、なぜ最後にかりんちゃんを許したのでしょうか。 <input type="checkbox"/> 班で話し合わせ、出た意見を板書する。
終末	○ 自分と比べる。 ・ ノートに書く。 → 数名発表する。	個全	◎ すみれちゃんと自分が似ているところと違うところを見付けましょう。 <input type="checkbox"/> ノートに書かせる。
らくがきされても、妹をゆるせるおねえさん。自分だったら/自分も・・・			
	○ 学習を振り返る。 ・ パフォーマンスシートに、自分の達成レベルと振り返りを書く。		◆ 自分の経験を振り返りながら、登場人物との共通点や相違点を見付け出している。（発言、全文シート）

(3) 評価

◇評価規準の具体（評価方法：ワークシート、発表）

【読むこと】

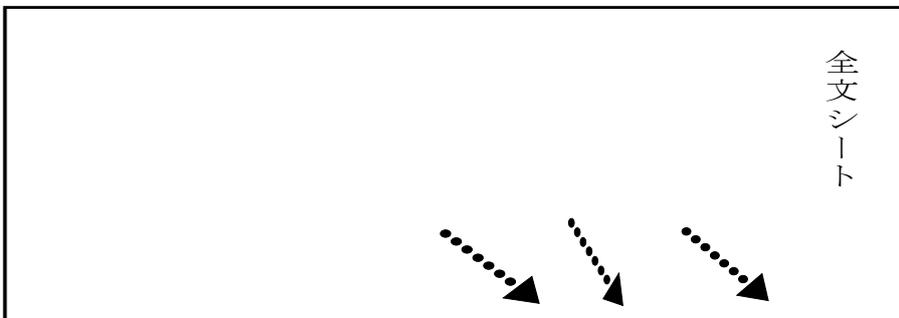
十分に満足できる（A）： すみれちゃんと自分を比べることで、考えが広がったり、読書への興味が高まったりしている。

おおむね満足できる（B）： すみれちゃんと自分の共通点と相違点を見付けることができる。

努力を要する児童への指導： すみれちゃんの言動を理解することができるように、すみれちゃんの心の動きに注目させる。

(4) 板書計画

☑ 妹にいたずらされてもゆるせるすみれちゃん。自分だったら・・・自分も・・・



☑ すみれちゃんの心のうごきを読み合い、自分とくらべよう。

- ・おどろいた。
- ・半分くらいなきそうで、半分分おこりそう。
- ・かわいく見えた。
- ・わらって、ゆるした。
- なぜ？
- ・べんきようしていたから。
- ・いたずらではなかったから。
- ・もう二年生だから。
- ・やさしいから。
- ・おねえちゃんだから。

十一月五日
わたしはおねえさん

トライシート

おすすめの本を友だちにしょうかいしよう

⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
<p>学しゅうをふりかえろう。</p>	<p>「おすすめの本」を友だちにしょうかいしよう。</p>	<p>「おすすめの本」のしょうかい文まじめよう。</p>	<p>「おすすめの本」のあらすじをまじめよう。</p>	<p>「わたしはおねえさん」のしょうかい文をまじめよう。</p>	<p>「わたしはおねえさん」のあらすじをまじめよう。</p>	<p>すみれちゃんのお心のうごきを考え、自分とくらへよう。</p>	<p>すみれちゃんとかりんちゃんのことと言ったことを考えよう。</p>	<p>すみれちゃんとはどんな女の子かを考え、自分とくらへよう。</p>	<p>もの語<small>がたり</small>のはいけいを考えよう。</p>	<p>学しゅうの見通しをもとう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本をしょうかいするときに、本のあらすじをまじめに話した。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのしょうかい文を聞いて、面白かった。 ・友だちのしょうかい文を聞いて、面白かった。 ・友だちのしょうかい文を聞いて、面白かった。 ・友だちのしょうかい文を聞いて、面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。 ・おねえさんの本が面白かった。